

## OS09-7 長崎大学アカデミア創薬拠点事業

○植田 弘師<sup>1</sup>

<sup>1</sup>長崎大院医歯薬

長崎は我が国が鎖国状況であった江戸時代に唯一世界に開かれた都市であるとともに、我が国西洋医学発祥の地でもあります。長崎大学はその伝統を背景に独創的な医歯薬学研究活動を展開しており、特に熱帯医学研究所と原爆後障害医療研究施設のグローバル COE プログラムを中心とした活動は世界をリードする研究成果をあげています。また薬学との関連で言えば長崎大学薬学部卒業の下村脩先生がノーベル化学賞を受賞されています。本最先端研究基盤事業ではこうした特徴ある提案が採択され、長崎大学にアカデミア創薬拠点が整備されつつあることは大変喜ばしいことだと思います。長崎大学の提案は「感染症・放射線障害を中心とする下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬拠点」ということで、世界に発信する創薬研究事業を展開することを目指しています。この拠点事業においては文字通り、感染症と放射線障害に関連する研究機関とともに全国ネットワークを形成した上で創薬研究を行うことを一つの重要なミッションとしています。さらには痛み、神経保護、骨・歯科関連疾患における独創的標的に対する創薬研究を行うことも課題にしています。いずれもすでに独創的な創薬関連研究展開を行って来ましたが、このたびの化合物ライブラリーとハイスループットスクリーニング施設整備により、アカデミア創薬研究がさらに加速するものと信じています。長崎大学薬学には医薬資源からの天然物化学、蛍光・発光を利用したスクリーニング法開発に資する物理・分析化学、構造生物学と化合物最適化に必須の化学合成の各専門研究者が揃っていることから、一丸となってこの拠点運営に努力してゆきたいと考えています。